

技術士青葉会会報

第1号

2009年8月15日

技術士青葉会

千葉市稲毛区宮野木町 1664-67

発行責任者 荒野 喆也

consult.kohya@nifty.ne.jp

投稿・ご意見は大歓迎

技術士青葉会の発足にあたって

技術士青葉会会長 荒野 喆也

技術士の青葉会の発足は、一年半も前の二〇〇七年三月三十一日ですから今更ながら「発足に当たって……」という気もしますが、発足当時から念願だった「技術士青葉会会報」の創刊に当たって、当技術士青葉会の発足の目的と経緯について述べていきたいと思います。当同窓会の準備をはじめた三年程前には、すでに日本技術士会のなかに大学同窓会が八校ほど存在していましたが、いずれも大学の所在地が地元の開東地区にあり、大学との連携もとりやすく、大学によっては資金の支援もあるところもあり、東北大学のように母校の本拠地が遠く離れている場合のハンディキャップがどのぐらいあるのか等、懸念されつつのスタートでした。しかし、大学同窓会は以後十五校となり六校増えましたがこの六校中四校が遠隔地の学校で全国的広がりが顕著のようです。

1
とにかく初めて二〇〇七年の三月にまず集まっていたときとは一般的な同窓会で懇親・交流が主目的のもりででした。しかし、その席上アンケートをとり討議してゆく中で、なんらかの母校との交流の強化が模索され、以降、単なる懇親・交流だけではなく、技術を通じて母校への貢献の道が検討され、関係者の努力により、東北大学産学官連携推進

本部との協定契約の締結に至りました。

契約締結ともなると単なる任意団体では許されなくなり一年後の二〇〇八年二月に会則を作成し正式に組織化し、技術士青葉会が誕生したわけです。東北大学産学官連携推進本部との協定の目的は、大学発ベンチャー企業への支援等であり、関連して株東北イノベーションセンター、(株)東北テクノアーチとの連携も進んでいます。また、仙台市教育センターとの連携により理科支援員等配置事業の特別講師として、技術士の体験を活かした小学生の理科離れ防止授業に地元会員が参画しています。最初のスタート時の登録数は五十人前後でした。正式の会費納入義務を伴う会員登録時には二十％程減りましたが、その後の会員増強の努力で現在元の数に復帰しております。今後とも会員の全国展開と会員数増強を目指していきたいと思えます。今年も青葉工業会会誌、機械系同窓会会誌等へ入会案内記事の掲載やホームページの立上げ等実施しましたが、やはり会員の増強は会員の勧誘によるのが最も効果的のようですから、是非会員各位に会員への勧誘方をよろしくお願いいたします。従って当会の目的は、会員の懇親・交流、会員の相互研鑽、母校への貢献等のバランスをとりつつ、会員であることのアイデンティティを確立できるようにしたいと思いますので会員各位のご協力よろしくお願いいたします。

技術士青葉会と東北大学産学官連携推進本部との

業務協力に関する覚書締結

技術士青葉会は、発足の目的のひとつである「東北大学の発展に寄与する」ために、産学官連携推進本部との間で業務協力に関する覚書を締結しました。大学OBが産学官連携推進に協力するケースは他大学でもありますが、税理士や弁理士などの事務処理関係の協力支援が多く、技術経営の専門家集団が支援するというのは始めてのケースといえます。調印式は、平成二十年三月二十五日午後二時三十分、東北大学本部三階第一会議室にて、当会の荒野会長と東北大学産学官連携推進本部長の庄子理事との間で行われました。内容は、東北大学発ベンチャーに対して①ビジネスモデルの指導、②技術指導、③市場調査・販売促進支援、④その他ベンチャー企業から要請があった場合の四項目です。

ベンチャー側は、足元の研究開発や資金対策等で多忙を極めているはずであり、肝心の販促活動が弱い点が挙げられるため、積極的な支援が待たれるところです。

なお、当時の模様は新聞にも報道されました。

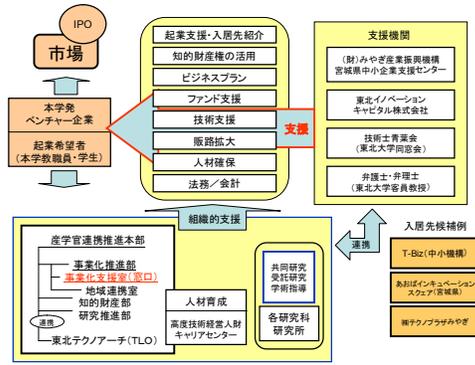


技術士青葉会の ホームページ開設

河相総務担当幹事のご協力により、技術士青葉会のホームページが開設されています。覗いてみて下さい。また、掲載記事・投稿は大歓迎です。

URL

http://homepage2.nifty.com/
/MASASHIKAWAI/SUB/
連絡先 河相幹事
RXL00011@nifty.ne.jp



東北大学ベンチャー支援体制
(東北大学の組織は覚書締結当時のもの)

東北大学と技術士青葉会との連携協力スキーム

大学発ベンチャーが支援を仰ぎたいこととして、①開発資金や運転資金不足、②創業の拠点、③市場開拓力④人材不足⑤知財権の実施料減免が挙げられる。この中で、①はベンチャーキャピタル(東北イノベーションキャピタル)が支援、②は、中小機構が運営するインキュベーション施設(T-Biz)で対応、⑤は大学知財部とTLOの東北テクノアーチが制度化することで対処可能である。ただし、大学教員が苦手な③と、資金難のために優秀な人材の雇用ができない④については、技術士青葉会メンバーの出番が待たれる。この場合、正当な指導報酬の支払が厳しいこともあり、支援の仕方については当事者で詰める必要がある。非常勤役員に入って業績向上に努めて上場させるという道筋も考えられる。いずれにしても、関係先との十分な連携のもとですすめることが必須と言える。

技術士青葉会総会ルポ(虎ノ門日本技術士会会議室)

設立準備総会(二〇〇七年三月三十一日)
第一回総会(二〇〇八年三月十五日)

荒野さんが中心となって、東北大学出身の技術士を名簿や口コミでリストアップして、案内したところ、約五十名強のメンバーの中で、三十一名が参加して設立準備総会が開催された。設立準備総会では、産学官連携推進本部副本部長で本学出身の高橋富男氏(金属部門・経営工学部門技術士)から「東北大学の産学連携推進」と題して基調講演がなされ、東北大学に対する企業などからの評価が高まっていることを再認識しました。また、会の名称は「技術士青葉会」、初代会長に荒野皓也氏が満場一致で決まりました。

発足会には、永田一良日本技術士会副会長もお祝いに駆けつけてくれ、あいさつを頂き、懇親会でも懇談されました。

また、第一回総会は二十年三月十五日に開催されました。

(参加者一十二名)

基調講演は、当会会員の菊山紀彦氏(金属部門、航空・宇宙部門)から、宇宙開発の現状や理科教育について豊富な経験を元にお話を頂きました。総会議事に入り、東北大学との業務協力協定覚書内容、会の規約、名簿の整備、幹事役割等について議論がなされ、内容や方向性について承認された。総会後の懇親会では、和やかに懇談がなされました。

会員募集のご案内

技術士青葉会では会員を募集しています。東北大学および仙台工業専門学校出身の技術士・技術士補の有資格者(正会員)と東北大学に在籍し、本会の目的に賛同いただける者(准会員)の紹介をお願いします。年会費は千円です。

consult.kohya@nifty.ne.jp

第二回総会ルポ(虎ノ門 日本技術士会会議室)

二〇〇九年二月二十八日に開催されました。月末のためか参加者は十七名と少な目でしたが、委任状十五と合わせて三十二名の参加となりました。

はじめに荒野会長から、〇七年度活動報告および会計報告がなされ、続いて〇八年度活動方針、活動計画、予算計画の説明があり全て承認されました。特に、年会費については、一〇〇〇円とし、総会参加者は更に二〇〇〇円を追加する案も承認されました。また、東北大学メールマガジンへの掲載や、青葉工業会誌への記事掲載、ホームページ、東北大学産学官連携推進本部の組織変更などの報告がありました。

総会に引き続き、東北イノベーションキャピタル株式会社 熊谷 巧社長から「大学発ベンチャー支援の現状と課題」と題した基調講演をいただきました。その後、熊谷講師を囲んでなごやかな中で懇談が深められました。

途中で、新会員となった沖津、小山、草間各会員から尚一歩一歩がりました。



総会で報告する荒野会長



熊谷社長



瀬古会員の乾杯発声



新幹事の松本さん

参考資料：大学発ベンチャー企業数

(H20年3月発表)

H19年度経産省産業技術調査報告書

順位	大学名	企業数	FY19 新設
1	東京大学	123	2
2	大阪大学	78	0
3	京都大学	66	3
4	筑波大学	65	6
5	東北大学	56	4
6	九州大学	53	2
7	東京工業大学	52	7
8	北海道大学	43	1
9	九州工業大学	42	0
10	神戸大学	34	0



新入会の沖津氏



新入会の草間氏



新入会の小山氏

総会懇親会で挨拶する
三人の新入会の皆さんです。

技術士青葉会の発足目的と経緯(会則(抜粋))

参考までに本会の名称、会員、役員、会費、任期等について抜粋して掲載しました。

技術士青葉会規約 二〇〇八年三月十五日総会承認

二〇〇九年二月二十八日総会承認(年会費他修正)

第一条 本会は、技術士青葉会と称する。

第二条 本会は、母校東北大学の発展に貢献し、技術者の能力開発の一助となるような活動を行うことまた、会員相互の親睦を深めることを目的とする。

第三条 東北大学およびその工学部の前身である仙台工業専門学校を卒業し、技術士法に規定された技術士および技術士補に登録された者また、同法に定められた技術士および技術士補となる資格を有する者は、正会員の資格を有するものとする。

第四条 会員は、総会で決定した年会費を納入する。

第五条 本会に次の役員を置く。会 長 一名

副会長 三名以内 幹事長 一名

幹事 一〇名以内 会計監事 二名

第六条 役員及びアドバイザーの任期は一期二年とし、任期は二期内とする。

第七条 役員は、無報酬とする。

第八条 本会の会議は、総会および幹事会とする。一、総会は、会員を持って構成する。二、総会は、本会の最高意思決定機関であり、定時総会および臨時総会とする。三、定時総会は、年一回開催する。四、定時総会は、年一回開催する。五、総会および幹事会の議決は、出席者の過半数をもって決する。事前に提出された委任状は出席とみなす。

第九条 本会の会計年度は、毎年一月一日に始まり、同年十二月三十一日に終わる。

第十条 二〇〇九年一月二十八日日本技術士会会議室で開催された総会にて承認された。第八条の年会費は一、〇〇〇円とする。

以上

会員短評

荒野詰也氏より

「理科支援員配置等事業(文科省)の特別講師に技術士が活躍」

最近「児童の理科離れ」や「大学生の理工学部離れ」が問題視されており科学技術創造立国日本の国家戦略が危ぶまれています。特別講師は、小学校の年生に理科のおもしろ実験を通して理科離れ防止に協力しています。この制度は各都道府県の教育委員会と運営してまいりますので、是非各地区でコンタクトしてみてください。日本技術士会が専用パンフレットを作成して支援しています。

河相 雅史氏より

いまままで製品開発部門への指導業務として安全などをキーテクトしてききましたが、省エネ機器の開発の実績を用い、国内海外の排出権取引・環境事業支援などにも参画し始めました。

会費納入のお願い

配布された名簿に登録されていて総会等に参加されていない方で本年分の年会費1000円未納の方は、下記の口座に振込をお願いします。

郵便銀行 総合口座記号10270
番号19180351
名義人 千葉 俊雄

常設委員会を中心とした委員会組織の変更について

政策委員会

平成21年5月理事會において、「行動する日本技術士」として社会的認知度を高めると共に、社会に貢献する活動を効率的に展開することを目的に、以下の通り常設委員会体制及び実行委員会の職務委員会を本年7月より変更すること等が決定しました。

現行の委員会体制		名称	新たな所掌事項	管轄実行委員会
倫理	1. 秩序・信用の維持	倫理	倫理2 倫理意識、倫理教育の推進	-
	2. 倫理委員、倫理審査規則管理		倫理5 技術者倫理の啓発	
	3. 倫理委員の実務		倫理1 秩序・信用の維持	
	4. 会員の表彰		倫理3 倫理委員の実務	
	5. 技術者倫理の啓発		政策2 総務、選挙、名簿会員基本制度	
政策	1. 基本運営事項の企画、立案	総務	政策3 定款等の経理の管理	-
	2. 総務、選挙、名簿会員基本制度		政策4 支部の運営の企画、立案	
	3. 定款等の経理の企画、立案		政策5 他の常設委員会の所掌外	
	4. 支部の運営の企画、立案		業務3 会員グループの登録管理	
	5. 他の常設委員会の所掌外		業務4 寄附物の本会会務使用管理 特別委 会員拡大に関わる事項	
財務	1. 予算作成	企業	政策1 基本運営事項の企画、立案	-
	2. 決算報告		財務1 予算作成	
	3. 予算管理		財務2 決算報告	
事業	1. 事業計画、事業報告の策定	研修	事業2 研修会、全国大会等企画実施	-
	2. 研修会、全国大会等企画実施		事業3 CPDの推進、学協会との連携	
	3. CPDの推進、学協会との連携		事業4 研修制度普及、修習技術者支援	
	4. 修習制度普及、修習技術者支援		広報1 会誌の企画、編集、発行	
	5. 国際交流の推進		広報2 ホームページの企画、立案	
	6. 社会貢献的事業の企画、実施		広報3 技術士及び本会の外延広報	
広報	1. 会誌の企画、編集、発行	社会貢献	事業6 社会貢献的事業の企画、実施 防災支援、理科教育支援、その他	-
	2. ホームページの企画、立案		活用促進1 技術士業務の啓発、活用促進	
	3. 技術士及び本会の広報		活用促進2 技術士等の業務報酬の調査 報酬1 報酬の手引き改定、調査	
	1. 技術士業務の啓発、活用促進		国際1 (個別規定委員会として設置) 事業5 国際交流の推進	
業務	1. 技術士業務の啓発、活用促進	活用促進	業務1 技術士業務の啓発、活用促進	-
	2. 技術士業務の啓発、活用促進		業務2 技術士等の業務報酬の調査	
	3. プロジェクトチーム管理		報酬1 報酬の手引き改定、調査	
報酬	1. 技術士等の業務報酬の調査	国際	国際1 (個別規定委員会として設置) 事業5 国際交流の推進	-
	2. 報酬の手引き改定、調査		広報戦略特別委員会 (特別委員会として新設) 対外広報戦略の企画、立案	
役員拡大特別委員会 (特別委員会として終了し、特別委員会として存続)				
国際特別委員会 (特別委員会として終了し、特別委員会として存続)				

(注) 新たな所掌事項の「倫理1」は現行の倫理委員会所掌事項(1)に相当することを示す。

変更後の委員会体制		名称	新たな所掌事項	管轄実行委員会
倫理	1. 秩序・信用の維持	倫理	倫理2 倫理意識、倫理教育の推進	-
	2. 倫理委員、倫理審査規則管理		倫理5 技術者倫理の啓発	
	3. 倫理委員の実務		倫理1 秩序・信用の維持	
	4. 会員の表彰		倫理3 倫理委員の実務	
	5. 技術者倫理の啓発		政策2 総務、選挙、名簿会員基本制度	
政策	1. 基本運営事項の企画、立案	総務	政策3 定款等の経理の管理	-
	2. 総務、選挙、名簿会員基本制度		政策4 支部の運営の企画、立案	
	3. 定款等の経理の企画、立案		政策5 他の常設委員会の所掌外	
	4. 支部の運営の企画、立案		業務3 会員グループの登録管理	
	5. 他の常設委員会の所掌外		業務4 寄附物の本会会務使用管理 特別委 会員拡大に関わる事項	
財務	1. 予算作成	企業	政策1 基本運営事項の企画、立案	-
	2. 決算報告		財務1 予算作成	
	3. 予算管理		財務2 決算報告	
事業	1. 事業計画、事業報告の策定	研修	事業2 研修会、全国大会等企画実施	-
	2. 研修会、全国大会等企画実施		事業3 CPDの推進、学協会との連携	
	3. CPDの推進、学協会との連携		事業4 研修制度普及、修習技術者支援	
	4. 修習制度普及、修習技術者支援		広報1 会誌の企画、編集、発行	
	5. 国際交流の推進		広報2 ホームページの企画、立案	
	6. 社会貢献的事業の企画、実施		広報3 技術士及び本会の外延広報	
広報	1. 会誌の企画、編集、発行	社会貢献	事業6 社会貢献的事業の企画、実施 防災支援、理科教育支援、その他	-
	2. ホームページの企画、立案		活用促進1 技術士業務の啓発、活用促進	
	3. 技術士及び本会の広報		活用促進2 技術士等の業務報酬の調査 報酬1 報酬の手引き改定、調査	
	1. 技術士業務の啓発、活用促進		国際1 (個別規定委員会として設置) 事業5 国際交流の推進	
業務	1. 技術士業務の啓発、活用促進	活用促進	業務1 技術士業務の啓発、活用促進	-
	2. 技術士業務の啓発、活用促進		業務2 技術士等の業務報酬の調査	
	3. プロジェクトチーム管理		報酬1 報酬の手引き改定、調査	
報酬	1. 技術士等の業務報酬の調査	国際	国際1 (個別規定委員会として設置) 事業5 国際交流の推進	-
	2. 報酬の手引き改定、調査		広報戦略特別委員会 (特別委員会として新設) 対外広報戦略の企画、立案	
役員拡大特別委員会 (特別委員会として終了し、特別委員会として存続)				
国際特別委員会 (特別委員会として終了し、特別委員会として存続)				

日本技術士会の組織が二〇〇九年七月一日より変更されました。図は新旧の変化を示したもので、詳細は月刊「技術士」二〇〇九年七月号を参照下さい。なお、大学同窓会などの組織は総務委員会の管理となります。

関連記事

技術士青葉会も正式に位置づけられている東北大学全体同窓会の名称がこの六月に萩友会と正式に決まりました。また航空工学科の流れを持つ伝統ある機械系同窓会の本年の総会が去る五月十六日に行われ、荒野詰也会長から其講演として「I-Hクッキングヒーター(電磁調理器)の開発とMOI」が開発者の苦勞話を中心に披露されました。

東北大学同窓会報告

技術士青葉会も正式に位置づけられている東北大学全体同窓会の名称がこの六月に萩友会と正式に決まりました。また航空工学科の流れを持つ伝統ある機械系同窓会の本年の総会が去る五月十六日に行われ、荒野詰也会長から其講演として「I-Hクッキングヒーター(電磁調理器)の開発とMOI」が開発者の苦勞話を中心に披露されました。

おしらせ

技術士青葉会(全国大会併設)会合 事前案内

梅雨が明けて、猛暑が続いております。会員各位には元気で活躍のこととぞんじます。

ご承知のように、当会は母校東北大学の発展に寄与し、また技術者の能力開発の一助となる活動を行うこと、および会員相互の親睦を深めることを目的に設立されました。

さて、第三十六回技術士全国大会が来る十月十五日(木)と十六日(金)とに仙台で開催される予定です。母校のある仙台での開催である故、各位の参加も期待されます。

そこで、日頃、総会に参加する機会の少ない方々も含めて有志の会合を持つ、在仙の大学関係機関との関係者にも、ご参加いただくことが容易であるなどを考慮して下記のように、会合を設定いたしましたので、案内致します。

- 一 開催日時 平成二十一年十月十六日(金) 十五時半〜十七時(全国大会は 十六日 十四時五十分)に終了の予定です
で、その後の時間に設定しました)
- 二 開催場所 東北大学工学研究科総合研究棟(二〇一室) 青葉山キャンパス
- 三 大学関係参加予定者
 - ・ 東北大学産学連携推進本部産学連携課リエゾン室
 - ・ 東北大学高度イノベーション博士人財育成センター
 - ・ 東北テクノアーチ、東北イノベーションキャピタル
- 四 参加費用 無料(お茶などの実費を当日徴収します)
- 五 その他

- ① 正式な案内状は 九月上旬に発信する予定です。参加の方は スケジュールを確保をお願い致します。
- ② 会合後 有志懇親会を開催します。当日 会場等を決定します。時間の余裕のある方は、ご参加ください。

役員

役員は第一回総会にて選出された役員の中から互選で次のように決まりました。(卒業年・学科)(部門)

- 会長 荒野 詰也 (88機械) (機械・総技監)
- 副会長 佐藤 光雄 (91機械) (機械)
- 幹事(総務) 佐藤 光雄 (兼任)
- 幹事(総務) 河相 雅史 (93精密) (機械)
- 幹事(総務) 安藤 克己 (71機械修) (機械・総技監)
- 幹事(広報) 高橋 富男 (64金属工学) (金属・経工)
- 幹事(広報) 菊山 紀彦 (66金材修) (金属・宇宙)
- 幹事(会計) 千葉 俊雄 (88機械) (経営工学)
- 幹事(会計) 松本 京子 (89薬学修) (生物)
- 監事 田嶋 忠志 (88機械) (機械)
- 監事 矢島 政夫 (88機械) (機械)

後記

技術士青葉会発足して一年半たつて会報第1号を発行することになりました。会の性格上、それぞれの会員の皆さんが単独で活動されていることから、会員としてのメリットがなにかによって、会の維持継続が左右されると思います。小中高校および大学の同窓会の案内がこの頃多くなってきた感じがします。先日、誰もなり手が居なくて困っている高校の同窓会東京支部長を勢いで引き受けてしまいました。あるべき姿はなにかを幹事の皆さんと検討しているところですが、何をやるにつけても会員が少ないと話になりませんので、幽霊会員ではなく、実質的に行事に参加いただける会員を増やすことが先決であるとの結論です。それには、会員の皆様にとって魅力的な企画が大切でしょう。会員からの声とニーズに合った会の運営がポイントです。(高橋)